

# 図書館ニュース 2月号

鳩山高校 図書館 2020.2

## 埼玉県の高校図書館司書が選んだ

### ◆ イチオシ本2019 ◆

埼玉県内の高校図書館で働く司書が、2018年11月～2019年10月に出版された本の中から、「高校生にぜひ読んでほしい!」と思うものを選びました。



『ぼくはイエローで  
ホワイトで、  
ちょっとブルー』



『線は、僕を描く』



『「空気」を読んでも  
従わない』



『本と鍵の季節』



『82年生まれ、  
キム・ジョン』



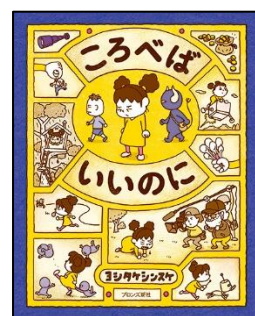
『十二国記  
白銀の墟、玄の月』



『こども六法』



『ゴミ清掃員の日常』



『ころべばいいのに』



『夢見る帝国図書館』

ランキングの詳細は、「埼玉県高校図書館フェスティバル」のホームページでも見ることができます。

<http://shelf2011.net/>



ただ今展示中



## 埼玉県の高校司書が選んだイチオシ本2019

「埼玉県の高校司書が選んだイチオシ本2019」で、トップ10に入った作品を中心に展示をしています。

今年も、小説、エッセイ、絵本とバラエティ豊かな本たちが「イチオシ本」として選ばれました！著者や編集者の方々からのメッセージも届いているので、ぜひ見に来てください。

ちょっと気になる新着図書



### 『ゴミ清掃員の日常』

滝沢 秀一/原作・構成  
滝沢 友紀/まんが



「イチオシ本」でも第7位に選ばれた本作は、副業としてゴミ清掃員の仕事につくお笑い芸人が、自身の体験談をまとめたコミックエッセイです。

これを読むと、ゴミ清掃員の知られざる苦勞が見えてきて、分別をすることの大切さに改めて気づかされます。

これからもゴミを出し続ける私たちが、知っておいた方がいいこと、知っておかなければいけないことがつまった1冊です。

## 2020年本屋大賞ノミネート作品発表



「本屋大賞」とは、全国の書店で働く書店員が過去1年間に出版された小説の中から、「お客様にぜひ薦めたい!」と思った作品を選び投票するものです。

今年は、586人からの投票の結果、右記の10作品がノミネートされました。

大賞の発表は、4月7日(火)です。

お楽しみに!



- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| 『線は、僕を描く』                | 砥上 裕将/講談社     |
| 『店長がバカすぎて』               | 早見 和真/角川春樹事務所 |
| 『夏物語』                    | 川上 未映子/文藝春秋   |
| 『熱源』                     | 川越 宗一/文藝春秋    |
| 『ノースライト』                 | 横山 秀夫/新潮社     |
| 『むかしむかしあるところに、死体がありました。』 | 青柳 碧人/双葉社     |
| 『ムゲンのi』                  | 知念 実希人/双葉社    |
| 『medium 霊媒探偵城塚翡翠』        | 相沢 沙呼/講談社     |
| 『ライオンのおやつ』               | 小川 糸/ポプラ社     |
| 『流浪の月』                   | 凧良 ゆう/東京創元社   |